

令和4年4月1日

医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業  
戦略的国際共同研究プログラム（SICORP） 日・シンガポール共同研究  
「ヒト老化の生物学的・分子決定因子」における事後評価コメント

研究開発課題名 自然免疫細胞の老化を軸とする老化関連疾患発症の解明  
研究開発機関名 東京大学  
研究開発代表者名 藤生 克仁

心臓突然死発症における心臓マクロファージとその分泌因子の関与、および心臓突然死発症から改善過程における候補分子の同定、さらに眼疾患に関与する炎症および免疫応答関連分子として複数の候補分子経路を解明したことは、当初の計画を越える大きな成果として評価できる。また、研究体制が適切に組織化されたことは大いに意義がある。一方で、シンガポール側の研究が、日本側の研究成果にどの程度貢献したかは分かりにくい。今後は、引き続きエピジェネティックな解析を加速化させるとともに、心臓突然死の解析から得た成果をヒト老化の臨床応用へ還元させるべくトランスレーショナルな研究を目指していただきたい。

以上